

第36回 静岡県少年少女空手道選手権大会要項

静岡県空手道連盟 会長 服部 貞 誼

理事長 遠藤 安 治

競技委員長 田辺 豊

- 1 開催日時 令和2年4月26日(日) 開会式 午前 8:30
選手集合・受付 8:00 審判会議 8:00
- 2 会場 静岡県武道館 藤枝市前島2-10-1 TEL:054-636-2332
- 3 主催 静岡県空手道連盟
協賛 (公財)全日本空手道連盟、静岡県武道協議会
後援 静岡県教育委員会、(公財)静岡県体育協会、静岡新聞社・静岡放送
- 4 種目 ○ 形競技(個人戦) ○ 組手競技(個人戦)
- 5 参加資格 次の(1)~(4)の全てを満たしていることを参加資格とする。
(1)参加支部は静岡県空手道連盟に加盟していること
(2)参加支部は令和1年度年会費を令和2年3月末日までに納入していること。
(3)参加競技部門は大会開催日時点の学年の部とする。
(4)参加選手は(公財)全日本空手道連盟(以下、「全空連」)の会員であること。
※大会前日までに会員申請をしていない選手は、失格とする。

6 参加料 個人戦(1競技・1名) 2,000円

7 参加料振込先

金融機関: 清水銀行 中田支店 店番:308

口座番号: 普通 2207318

口座名義: 静岡県少年少女大会

- 8 申込み締切り 令和2年3月6日(金)(参加料振込期限)
 - ・参加申込み期間内に入金が確認できない場合は申し込みを受け付けない。
 - ・申込書は下記の申込み先まで郵送またはE-mail 送信すること。
(申込書の電子データを下記申込先のE-mail アドレス宛てに請求できる)
 - ・静岡県空手道連盟HP(<https://www.seikuren.com/>)からも申込書をダウンロードできます。※締め切り日以降の受付は一切行わない。

9 申込み先

静岡県空手道連盟選手権大会実行委員会 堀池 琢馬

住 所: 〒424-0057

静岡市清水区堀込525 アムールHaruta B204

連絡先: 090-4793-4068

メールでのお申し込みはこちらまで→E-mail: jkf_shizuoka@yahoo.co.jp

- 10 大会係員及び審判員
審判員の不足が予想されます。各支部からご協力をお願いします。
- 11 組合せ抽選
 - ・令和2年3月15日(日)に焼津市総合体育館シーガルドームにて実施予定。
立会希望者は、事前に競技委員長まで申し出ること。
 - ・平成31年度(前年度)当大会での入賞選手(ベスト4以上)をシード対象とする。
 - ・前年度に行われた第19回全日本少年少女空手道選手権大会にて各種目1位~3位の選手は、今大会において『スーパーシード選手』として取り扱う。(16(競技内容)の項)
- 12 参加上の注意
 - ・全日本少年少女空手道選手権大会のワッペンは、必ず外して下さい。
 - ・競技当日の傷害等の応急処置は主催者が行うが、その後の責は負わない。

- ・参加選手は全員スポーツ保険に加入しておくこと。
- ・体調不良者や興奮しやすい性格等の問題のある者は出場させないこと。
- ・空手衣の刺繍の色・紐の有無・形競技による礼の回数については全空連の規定に準じて行うので所属支部内で周知徹底を図ること(申し合わせ事項に規定する場合は、この限りではない)
- ・全日本少年少女空手道選手権大会に出場する選手は、全空連公認段位(少年)または全空連公認級位(1級～5級)が必要である。全日本少年少女空手道選手権大会までに取得していない者は県代表として出場不可。(なお、本大会における参加資格には要件としない)

13 プラカード 出場支部は必ずプラカードを持参すること。

14 ゼッケン 今大会よりフルネームのみを記載

各自ゼッケンを作成し稽古着の背に取り付けること

なお、取り付けに金属類は使用できない。

ネーム色:男子は黒色、女子は赤色とする。

10cm

ゼッケンの書式

20cmサイズの白い布



15 駐車場・他 会場の駐車場は使用不可。

民間駐車場を利用すること。極力公共交通機関を利用されたい。

・履物は各自靴入れ袋等を持参し、個人携行品と共に自主管理すること。

16 競技内容

第36回 静岡県少年少女空手道選手権大会

※第20回全日本少年少女空手道選手権大会(7月23・24日千葉県 千葉ポートアリーナ)

の選手選考会を兼ねる。

(1)形競技

○個人戦 ★エントリー数:制限なし

[1] 小学生1年男子の部	[5] 小学生3年男子の部	[9] 小学生5年男子の部
[2] 小学生1年女子の部	[6] 小学生3年女子の部	[10] 小学生5年女子の部
[3] 小学生2年男子の部	[7] 小学生4年男子の部	[11] 小学生6年男子の部
[4] 小学生2年女子の部	[8] 小学生4年女子の部	[12] 小学生6年女子の部

○形の種類

・基本形:平安またはピンアン初・2・3・4・5段、ゲキサイ1・2

・指定形:全空連競技規定付録7の指定形(第1指定形、第2指定形)

(注)得意形は選択できない。

○競技規定 全空連競技規定及び競技委員会打合せ細則に準じて行う。

(大会開催時における最新の全空連競技規定に準拠)

① 採点方式で行う。

・5人制とする。

・審判は、競技点と技術点の総合評価点として採点する。(1回出し)

② 2名同時に演武する。但し、メダルマッチ(3位順位決定戦含む)及びSS選手出場の優勝決定戦は1名ずつ演武する。

③ グループ数、1グループの人数は、参加人数により決定する。(別表1 参照)

④ ベスト8が出るまでの各ラウンドは基本形、ベスト8となったラウンドからは全空連第1指定形、第2指定形及び、これまでに使用していない基本形から選択し、同じ形を繰り返し演武できる。

なお、エントリー数の7名以下の場合、第1ラウンドで指定形(第1、第2)を演武できる。

⑤ メダルマッチにおいて、演武は赤から行う。なお、スーパーシード選手は青とする。

(2)組手競技

○個人戦 ★エントリー数:制限なし

[1] 小学生1年男子の部	[5] 小学生3年男子の部	[9] 小学生5年男子の部
[2] 小学生1年女子の部	[6] 小学生3年女子の部	[10] 小学生5年女子の部
[3] 小学生2年男子の部	[7] 小学生4年男子の部	[11] 小学生6年男子の部
[4] 小学生2年女子の部	[8] 小学生4年女子の部	[12] 小学生6年女子の部

○競技規定 全空連競技規定及び競技委員会打合せ細則に準じて行う。

(大会開催時における最新の全空連競技規定に準拠)

①トーナメント方式で、3位決定戦も行う。(※上記11 組み合わせ抽選参照)

②競技時間内に6ポイント差または競技終了時に得点の多い者を勝者とする。

同点の場合、先取した者を勝者とするが、先取なき場合は主審及び副審にて判定を行う。
再試合は行わない。

③競技時間は1分間でフルタイム制とする。

④安全具 組手競技において下記の安全具を着装すること。

・全空連検定拳サポーター

(赤・青[白色使用不可]、小学生用赤・青リバーシブル拳サポーター)

・全空連検定メンホーⅥ(シックス)及び、Ⅶ(セブン)のみ使用可

・全空連検定ボディプロテクター(稽古着の内側)

・全空連検定シンガード及びインステップガード

・ファールカップ(男子)着装は小学3年以上とし、1・2年生は所属の指導者の判断に委ねる。

・なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。

・安全具を着装しない選手は出場できない。

(3)スーパーシード選手及び優勝決定戦について

前年度の全日本少年少女空手道選手権(全少)大会で各種目の3位以上の入賞選手は、今年度の全少大会に出場できる。(全空連取り決め事項)

前記全少大会の出場権を有する選手は、今回の県大会に出場することを原則とするが、競技の運営上この選手をスーパーシード(SS)選手として扱い、優勝決定戦にのみ出場するものとし、競技の取り扱いを以下のとおりとする。

なお、事情により県大会に出場しないSS選手は、大会実行委員会に事前に連絡すること。

1 SS選手出場部門は、最終戦でSS選手とトーナメント(組手)又はラウンド(形)1位の選手とで優勝決定戦を行い、勝者を部門優勝選手、敗者を準優勝者とする。

2 SS選手出場部門のトーナメント又はラウンド2位の選手は部門3位とし、トーナメント又はラウンドの3位選手2名は4位とする。

3 来年度県大会のシード順は部門優勝者を第一位、部門準優勝者を第二位、トーナメント又は形ラウンド3位を第三位、同3位2名は決定戦を実施し第四位を決する。

4 SS選手出場部門は、本年度全少大会にSS選手含む3名出場できる。

※ 上記のスーパーシード制は今年度から導入する。来年度以降は制度内容を修正することがある。

◎今年度全少大会出場権確定選手(スーパーシード選手)

組手 堀川快成(小2男子) 近藤舞桜(小3女子) 竹内相志(小4男子)

形 赤池胡音(小2女子)

別表 1 (形競技 エントリー数に対する各ラウンドのグループ数)

エントリー数	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	メダルマッチ(銅)	メダルマッチ(金)
1~7	グループ数 1 (順位決定)	—	—	—	—
8~15	グループ数 2 (4~8名)	—	—	各グループ2位	各グループ1位
16~31	グループ数 4 (4~8名)	グループ数 2 (第1ラウンド 上位2名)	—		
32~47	グループ数 4 (8~12名)	グループ数 2 (第1ラウンド 上位4名)	グループ数 2 (第2ラウンド 上位4名)		
48~63	グループ数 8 (6~8名)	グループ数 2 (第1ラウンド 上位2名)	グループ数 2 (第2ラウンド 上位4名)		
64~96	グループ数 8 (8~12名)	グループ数 4 (第1ラウンド 上位4名)	グループ数 2 (第2ラウンド 上位2名)		

(形競技のラウンド例)

※エントリー数
40名の場合

